

モチベーション のためにも

—正社員登用 採用予定数大幅減—



ひろしま

郵政産業労働者
ユニオン広島支部
(広島郵便局内)



現在職場では、「J P プラン 2028」の業研が開催されています。郵便・物流事業の構造改革をはじめ、大きな変革となることは間違いありません。ただ、現状集配拠点の統廃合や新人事給与制度の見直しなど、局や手当の具体的なものがないだけに、今後、より注視していかなければなりません。

引き受け物数が減ってきていることは事実ですが、会社は天下りや様々な企業との協業の失敗は棚に上げ、赤字の責任をすべて社員に押し付けてきました。要員不足も深刻で、2017年から2025年だけでも、日本郵便で正社員が約19万3910人から16万8922、非正規社員が19万2316人から14万9069人減少しています。



とりわけ集配業務は、募集をかけても人が来ない、入ってもすぐ辞める局が全国的に後を絶ちません。

これで賃金でも上がれば良いのですが、26春闘に見られるように、正社員は低いベースアップ、非正規社員は最低賃金待ちの全くのゼロです。

会社は7月10日、期間雇用社員等から正社員への採用(登用)について情報提供してきましたが、昨年の採用予定者は郵便で3000人程度(実際の採用数は2765人)だったのが、今年は1500人と半減しています。



応募者数が年々減っては来いますが、要員不足解消とモチベーションを高めるためにも、正社員登用数を拡大すべきです。

郵政ユニオン広島支部の組合事務室を獲得しよう! 会社は組合事務室を貸与せよ!